



本研修コンテンツの活用方法

令和4年度 地域づくり加速化事業（全国研修）

株式会社TRAPE
代表取締役CEO/CWD 鎌田大啓

CONTENTS



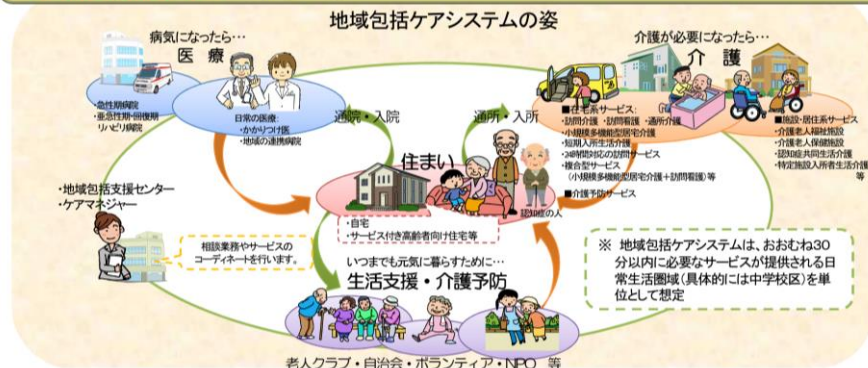
目次

- 1 本コンテンツの目指すこと
- 2 本コンテンツの構成
- 3 誰に使ってほしいか
- 4 どのような場面で使ってほしいか
- 5 どのように使ってほしいか
- 6 振り返り・まとめ

- 長寿社会となった日本においては、どのような状態になっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供されるような仕組み、すなわち地域包括ケアシステムの構築が必要です。
- 本コンテンツは、全国の各地域でその実情や特性に応じた地域包括ケアシステムの構築が進み、地域づくりの動きが加速できるよう、全国の関係者向けに、有識者・実践者による講義や好事例の紹介等を行うものです。

※ 本研修のコンテンツは、講師の経験、実績を踏まえた講義動画となっております。
それぞれの事業実施に当たっては、必ずしも講師の説明の限りではありませんので、
講義を参考としつつ、地域の実情に合わせた実施方法をご検討ください。

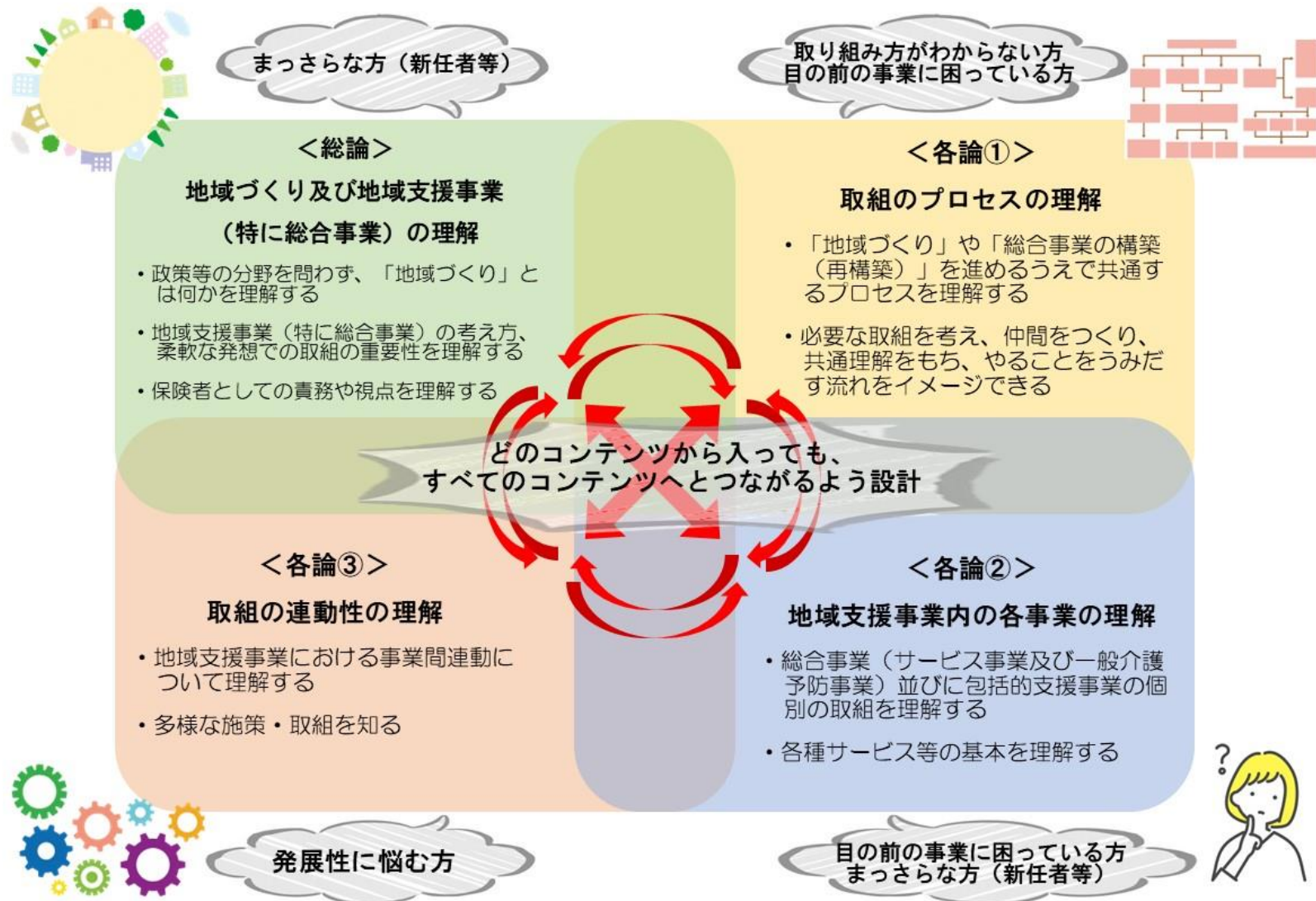
- 団塊の世代が75歳以上となる2025年を目前に、重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、**住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築を実現**していきます。
- 今後、認知症高齢者の増加が見込まれることから、認知症高齢者の地域での生活を支えるためにも、地域包括ケアシステムの構築が重要です。
- 人口が横ばいで75歳以上人口が急増する大都市部、75歳以上人口の増加は緩やかだが人口は減少する町村部等、**高齢化の進展状況には大きな地域差が生じています。**
 地域包括ケアシステムは、**保険者である市町村や都道府県が、地域の自主性や主体性に基づき、地域の特性に応じて作り上げていく**必要があります。



出典：平成28年3月 地域包括ケア研究会報告書より

なお、本コンテンツはブロック別研修でも活用します。
 ブロック別研修では各地域の課題に合わせてアレンジして活用していただけます。

すべてのコンテンツは繋がっているので どのコンテンツから入ってもOK



活用していただきたい方々

所 属

- 市町村等の方々
- 都道府県の方々
- 厚生（支）局の方々
- 地域づくりに関わる多くの関係者

経 験

- 今まで地域づくり（地域支援事業など）に関わった経験値が少ない配属間もない方（いわゆる新人・新任の方）
- 今まで地域づくり（地域支援事業など）に関わった経験値が高い方

どうしてこの方々に活用していただきたいのか

- 地域づくり（地域支援事業など）は、背景や視点が異なり、強みや役割が違うその地域に関わるさまざまな方々が、共通のビジョンのもとでそれぞれ持っている強みを掛け合わせ、対話や行動を重ねることでOne Teamになり新たな可能性を生み出すことができます。
- その際に、地域づくりや地域支援事業にまだ馴染みがなく、配属間もない方々には、基本から学ぶための学習コンテンツとして、また、すでに経験豊富で指導的立場にある方々には若手・新人への教育や関係者との対話用のツールとして、それぞれ活用いただくことで、共通理解や対話が深まり、その地域でのチームづくりや活動が促進されることを期待しています。

- 配属されたばかりでいちから地域づくり（地域支援事業など）について学びたいと思ったとき

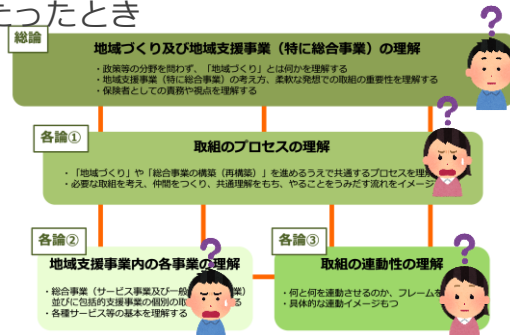


- 関係者と共通した知見の理解・再確認や取り組みに対するイメージを持ちたいとき



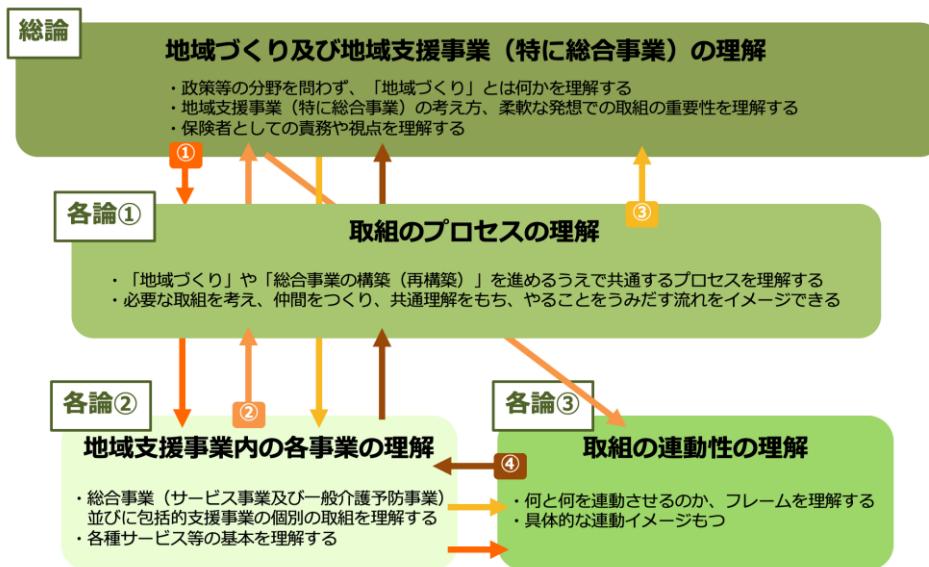
- 各種取り組みをおこなっている際に壁に当たってしまったとき など

- ・ そもそもの「地域づくり」「地域支援事業など」を行う目的などに迷ったり壁にあたったとき
- ・ 取り組むプロセスに迷ったり壁にあたったとき
- ・ 地域支援事業における事業を実施中に迷ったり壁にあたったとき
- ・ 地域支援事業以外の地域づくりの各種取り組みなどとの連動性（※複数取組の掛け合わせで新たな地域の可能性を生み出すこと）について迷ったり壁にあたったとき



- みなさんが興味を持った項目のコンテンツからご視聴ください。
- もちろんそのコンテンツだけをご視聴いただいてもOKです。
- しかし、みなさんの理解をさらに深めていただくためにオススメなのは、**続けて別の項目もご視聴いただく**ことです。
なぜなら、すべての項目は「地域包括ケアシステムの構築につながる地域づくり」という点で密接に関係し合っているからです。
- 右図の①～④の矢印は、連動的に各コンテンツをご活用いただく際の一例です。
興味を持った項目のコンテンツからどのような順番でもいいので全てのコンテンツを視聴していくことで内容を深めることにつながるでしょう。

※右図①～④以外の順序でみていただいてももちろんOKです。



連動的に視聴していくとイイでしょう！

振り返り・まとめ

- 1 本研修コンテンツの狙いは、各地域の実情に合わせた地域包括ケアシステム構築を加速化・後押しすること
- 2 すべてのコンテンツは繋がっているのでどのコンテンツから視聴・学習してもOK
- 3 特に、今まで地域づくり（地域支援事業など）に関わった経験値が少ない方に積極的に活用してほしい
- 4 地域支援事業の実践場面や悩み・迷いが生じたタイミングで再度視聴いただくことも効果的
- 5 繋がりの強いコンテンツを複数、連動的に視聴するとさらに理解が深まる
- 6 本コンテンツを活用し、地域包括ケアや地域づくりを理解し、ともに歩む仲間を増やしてほしい